

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 3月 11日

事業所名 かがやき学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に応じて机などを移動させ、常に活動しやすいスペースの確保に努めている。
	2	職員の配置数は適切である	○		利用者数に合わせ必要な職員数を配置するようにしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		スロープや手すりを設置し、バリアフリー化することで、車椅子でも安心して移動できるよう対応している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		学校お迎え時や自宅送迎時に、保護者様から情報を聞き取り共有することで、次の支援につなげている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		回答内容を確認し、職員間で話し合い改善に努めていきます。送迎時に保護者様の意向などに耳を傾けるように努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		コンプライアンスの観点からも年に1度はホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価について行っていないのが現状です。今後検討していきたい。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナウイルス感染症により、あまり研修会に参加できていないが、来年度は、リモート研修など積極的に参加していきたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者様のニーズと子どものニーズがイコールでないことを認識しながら、保護者様や学校関係者と情報共有することで、利用者一人一人に合った計画を立案していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		現在使用しているアセスメントシートで満足せず、より適切な支援ができるよう改良していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個々に活動内容を考え、職員間で共有し立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		コロナウイルス感染症により、三密を意識しながら若手職員の意見も取り入れ、マンネリ化しないよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇には平日では行えない内容や季節感が感じられる活動を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団での活動が苦手な子もいる中、個別療育と集団療育の両方の視点から個別支援計画を考え、それを職員間で共有している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、集団活動や個別での支援ないようについて職員間で確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その都度情報の共有はしているが、時間的な問題もあり、支援終了後の業務として位置づけはない。日々の業務に位置付けていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の活動内容や支援について記録を残しているが、支援の検証・改善については十分とは言えない。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		個別支援計画を作成する際、児童発達支援管理責任者が中心となり、定期的にモニタリングを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		活動が偏らないように支援している。個の成長、自立を目指して支援していきたい。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的には、児発管とその子に精通した職員が参加することが望ましいが、児発管が参加できていないこともある。今後は、日時を調整することで二人体制で参加できるよう努めていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様や学校との情報を共有し、TELにて下校時間や予定変更などがある際は、迅速に対応しています。今後も心掛けていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	左記に対象になる児童の受け入れた経験はないが、対象児の情報を得ることで適切な支援に繋げるため相互理解に努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		かがやき学園から法人内生活介護へ移行する際は、個々の情報を正確に伝えるようにしている。今後、他事業所を利用される場合でも同様に対応していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	事業所単位での助言や研修は行っていないが、児童発達支援センターや子育て支援課主催の研修に今後も参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	障がいのない子どもとの交流が持てないか考えているが現時点ではできていない。コロナウイルス感染症の状況をみて今後検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	参加できていないのが現状です。今後協議会の内容を確認し参加していけたらと考えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や場合によっては電話での相談する機会を持ち共通理解を図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	現在、行えていませんが、保護者の想いや相談内容を聞いて適切なアドバイスができるようにしていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用前の契約時に契約書・重要事項説明書・支援内容・利用者負担について丁寧に説明している。その他、随時質問等対応しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		色々な悩みなどの相談については、知識や経験から助言やアドバイスをしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	定期的な保護者会は開催できませんでした。今後は保護者参観や保護者間の交流ができるよう考えていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった時は、必要があれば謝罪し全職員で対応策を検討し、保護者様に提案し迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	定期的な会報等は発行していないが、毎月活動予定をお渡ししています。そして、当日送迎時に活動の様子をわかりやすくお伝えしている。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いには十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			日のサービス提供記録にわかりやすく伝えられるよう意識している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在、地域住民を招待する行事は行っていない。今後、地域の方々との交流について法人内で検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	保護者の皆様への周知についてはまだまだ行き届いていない状況でした。保護者の皆様へ安心して利用して頂けるよう周知・説明を進めていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画に沿って進めている。定期的に避難場所・避難ルート等確認している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		い者虐待防止についてリモート動画と資料を用意して研修を行っ
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	/	/	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	/	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	ヒヤリハット・事故報告書を作成し共有している。